施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	35	施策名	男女共同参画社会の実現
主管課名	市民協働推進室	電話番号	0285-83-8141
関係課名	秘書広報課、総合政策課、生涯学習課、健康増進課、こども家庭課、社会福祉課、商工観光課、農政課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口（推計人口）	人	78,874	78,592	77,635			

施策の目標	男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわりなく、社会のあらゆる分野において、その個性と能力を十分に発揮します。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合は、市民意向調査の集計結果とする。 ・委員会・審議会などの女性委員構成割合は、総務課で調査した「附属機関等の委員の構成調べ」の女性の占める割合とする。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合	目標値	%	52.3	54.3	55.7	57.1	58.5	60.0	60.0
	実績値			52.1	54.5	51.7			
委員会・審議会などの女性委員構成割合	目標値	%	31.9	32.0	32.4	32.8	33.2	33.6	33.3以上
	実績値			28.5	29.2	29.2			
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、一人一人が男女平等意識を持ち、家庭、地域、職場で男女共同参画の実践に努める。 行政は、市民に対する意識啓発と男女共同参画を推進する。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

【男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合】
・男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合は、目標５７．１％に対し、５１．７％であり、５．４％下回った。
・下回った理由として、男女共同参画に関して市民の意識が高まったことから、固定的役割分担に対しあらためて不平等感を感じるようになったことが考えられる。
・第４次真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づいた事業として、新規事業３つを含む次の事業を実施し、男女共同参画の啓発を行った。
〔事業者表彰、家事シェアエピソード募集、男女共同参画セミナー・講演会、男性の家事促進料理教室、(新)女性異業種交流会、(新)子育て世代交流会、(新)防災対策職員避難所研修〕

【委員会・審議会などの女性委員構成割合】
・委員会・審議会などの女性委員構成割合は、目標３２．８％に対し、２９．２％であり、３．６％下回った。
・委員の選任において、各機関や団体等の充て職によるものが多く、その結果として、男性が多くなるという実態がある。

・参考（令和４年４月１日現在）
　本市の構成割合は、県内１４市中８位であり、１位は日光市の３６．７％、１４位は大田原市の２２．４％である。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

【男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合】
・第４次真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づく各種事業の進捗管理においては、庁内の推進体制を強化するため、男女共同参画の視点の配慮について着目した事業評価を行い、次年度の効果的な事業実施につなげていく。
・令和４年度から始まった新規事業を含む各種推進事業の実施により、男女共同参画に対する理解促進に努める。また令和５年度は、新たに、女子小中学生向けの理工系イベントを実施する。
・男女共同参画に関する情報誌「ｕｓ・アス」を年１回発行しているが、内容を見直し、充実を図り、自治会を通じて配布するほか、市内の公共施設においても広く配布し、また市ホームページ等でも見られるようにする。
・男女共同参画や女性活躍推進に積極的に取り組む事業者表彰においては、取組内容等を市広報紙やホームページ等に掲載し、事業所のPRを行うとともに、事業所における男女の固定的役割分担の意識解消の推進を図る。

【委員会・審議会などの女性委員構成割合】
・市の各種委員会・審議会等における女性委員の構成割合の増加を促進するため、全庁的に委員の改選時の選出において各分野からの幅広い女性の参画を図るよう呼びかける。
・女性委員の割合が未達成の審議会等には、聞き取り調査を行い未達成の理由を精査し、女性委員の増員に努める。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	総重	男女共同参画推進事業	市民協働推進室	男女が平等になっていると感じる者の割合	%	20.0	事業のやり方改善
				男女の固定的役割分担意識が解消されていると感じている市民の割合	%	51.7	事業のやり方改善